

速報！2024年度国公立大志願状況

河合塾
2024/2/5

国公立大一般選抜の出願が2月2日に締め切られた。文部科学省より発表された同日10時現在の集計では、志願者数は389,962人、募集人員に対する志願倍率は3.9倍となった。

以下、発表された国公立大の出願状況について概況をまとめた。

出願最終日10時現在の状況

志願者数は前年同日比で約2千9百人増

国公立大の2次試験志願者数は、出願最終日となった2月2日10時現在で389,962人と、前年最終日同時点と比較して前年比100.7%となった。募集人員に対する志願倍率は前年同様の3.9倍となった<図表1>。

日程別にみると、多くの受験生の第1志望となる前期日程の志願者数は215,089人（前年比100.6%）となった。後期日程では前年比100.6%、中期日程で同103.1%と中期日程でやや増加率が高くなった。志願倍率に目を向けると、前期日程では前年同値、後期日程で0.1ポイントアップ、中期日程で0.5ポイントアップとなった。今春は後期・中期日程までしっかり出願した受験生が多かったようである。

先月実施された大学入学共通テスト（以下、共通テスト）の受験者数は、受験人口減少に伴い前年比96.5%と減少していた。このうち7科目以上の受験者は前年比98.8%であった。これと比すれば国公立大の人気は堅調といえる。

大学区分別にみると、前期日程の志願者数は国立大で前年比100.8%、公立大で同99.7%と、公立大ではやや出足が鈍いものの、いずれも前年並みで大きな差異は見られなかった。

2段階選抜の実施予定倍率を超えた大学は、51大学104学部、なかでも国立大では昨年同日の74学部から85学部に増加した。

国公立大の確定志願者数は2月20日に発表される予定である。前年はこの時点から確定までの間に、志願者数が約3万6千人増加した。今年度も今回の集計では反映されていない締め切り直前の出願者が相当数いると推測され、このまま推移すれば今年の志願者数は前年並みとなりそうだ。

<図表1> 国公立大志願状況

		募集人員		志願者数 (最終日10時現在)				志願倍率 (最終日10時現在)	
		23年度	24年度	23年度	24年度	前年差	前年比	23年度	24年度
国立大	前	63,598	63,647	165,055	166,430	1,375	100.8%	2.6	2.6
	後	12,667	12,629	111,791	112,601	810	100.7%	8.8	8.9
	計	76,265	76,276	276,846	279,031	2,185	100.8%	3.6	3.7
公立大	前	16,584	16,791	48,826	48,659	-167	99.7%	2.9	2.9
	後	3,388	3,348	33,423	33,417	-6	100.0%	9.9	10.0
	中	2,428	2,400	27,990	28,855	865	103.1%	11.5	12.0
	計	22,400	22,539	110,239	110,931	692	100.6%	4.9	4.9
国公立計	前	80,182	80,438	213,881	215,089	1,208	100.6%	2.7	2.7
	後	16,055	15,977	145,214	146,018	804	100.6%	9.0	9.1
	中	2,428	2,400	27,990	28,855	865	103.1%	11.5	12.0
	計	98,665	98,815	387,085	389,962	2,877	100.7%	3.9	3.9

※文部科学省資料より（数値は昨今ともに出願最終日10時時点の数）
※独自日程で実施する大学は表に含まない

系統別では歯学部で志願倍率上昇

<図表2>は国公立大の前期日程の志願状況を、文部科学省が分類している学部系統別に集計したものである。前年同時点データで昨今と比較している。前期日程全体の志願者前年比100.6%を基準にみていくと、「人文・社会」学系は前年比101.3%とやや増加した。理系では「理工」系で前年比100.3%となったものの、「農・水産」学系では同98.5%とこちらはやや減少した。ただし「農・水産」学系では募集人員も減少しており、志願倍率は前年と変化はみられない。

医療系では「医・歯」と「薬・看護」で対照的な動向となった。「医・歯」学系では「医」で前年比102.7%、「歯」で同107.1%といずれも増加した。「歯」では志願倍率が前年の3.3倍から3.6倍に上昇した。一方、「薬・看護」学系では「薬」で前年比97.6%、「看護・保健」で同94.2%と志願者数は減少した。なお、看護・保健系学科は医学部の学科の場合は「医」で集計されており、河合塾調査では、医学部の看護・保健系学科を含む

<図表2> 国公立大（前期日程） 学部系統別の志願状況

系統	募集人員		志願者数 （最終日10時現在）			志願倍率 （最終日10時現在）	
	23年度	24年度	23年度	24年度	前年比	23年度	24年度
人文・社会	21,878	21,870	58,324	59,108	101.3%	2.7	2.7
理工	27,822	27,902	70,915	71,100	100.3%	2.5	2.5
農・水産	4,895	4,764	12,780	12,590	98.5%	2.6	2.6
医・歯	7,130	7,100	23,106	23,806	103.0%	3.2	3.4
医	6,582	6,556	21,296	21,868	102.7%	3.2	3.3
歯	548	544	1,810	1,938	107.1%	3.3	3.6
薬・看護	4,142	4,241	11,654	11,080	95.1%	2.8	2.6
薬	814	809	3,062	2,990	97.6%	3.8	3.7
看護・保健	3,328	3,432	8,592	8,090	94.2%	2.6	2.4
教員養成	7,806	7,766	16,644	16,093	96.7%	2.1	2.1
その他	6,509	6,795	20,458	21,312	104.2%	3.1	3.1
合計	80,182	80,438	213,881	215,089	100.6%	2.7	2.7

※文部科学省資料より（数値は昨今とも出願最終日10時時点の数）
※系統の分類は文部科学省によるもの（医、歯、薬、看護・保健は河合塾による分類）

めた志願者は前年並みとなっている。
「教員養成」系では前年比96.7%と志願者は減少した。教員養成系は年間を通じ人気はなかったが、出願時点でも他系統からの流入はなかったものとみる。
「その他」では志願者前年比は104.2%と全系統で最も高くなった。「その他」系統には、データサイエンス系の学部が含まれる。データサイエンス系学部のみでは前年比127.3%と志願者は大幅に増加した。ただし、今春は複数の学部が新設されており、志願倍率で見ればは昨年の2.6倍から2.5倍へとむしろダウンした。
前期日程で高倍率の学部は、東京芸術大（美術）12.5倍、鹿児島大（共同獣医）9.4倍、岐阜大（社会システム経営学環）8.5倍などが挙げた。

難関大では志願者増加、受験生の積極的な出願が目立つ

<図表3> は旧帝大を中心とした難関10大学の志願者数を、こちらも前年同時点で昨今比較したものである。
難関10大学全体の前期日程の志願者数は、54,964人（前年比102.0%）と増加した。大学別にみても、東京工業大、大阪大を除き前年を上回る志願者数となった。このうち東北大、一橋大、名古屋大、京都大、神戸大はすでに前年の確定志願者数を上回っている。
河合塾が実施した自己採点集計「共通テストリサーチ」参加者のデータを見ると、得点率8割以上の高得点層は前年から約1割増加していた。高得点層の増加が難関大への積極的な出願につながったものとみる。ただし、新課程入試を翌年に控え、難関大の出願は諦めないものの、学部内最難関の学科の敬遠、昨年度低倍率だった学部・学科や比較の入試難易度の低い学部・学科への志願者集中といった動きがみられる。

東京大では文科三類、理科一類、理科三類で志願者が増加した。文科三類、理科一類はすでに前年の確定志願者数を超えている。文科類では文科一類・二類では志願者は減少、文科一類では第1段階選抜は行われない模様である。京都大では、法、経済、理、工、農、総合人間学部が現時点で前年の確定志願者数を超えている。このうち経済、工、総合人間の3学部は過去5年で最大の志願者数となる。
東京工業大では、志願者数が昨年同時点を上回るのは物質理工学院のみである。昨年は大学全体で前年比1割増と大幅に志願者数を増やしていたため警戒されたようである。情報理工学院では入学定員増により一般選抜の募集人員も増員されたが、志願者数は大幅に減少する見込みだ。志願倍率もこれまで9倍前後で推移してきたが、現時点で5.5倍に留まっており、今年は大幅にダウンしそうである。
一橋大では、法、商学部で前年の確定志願者数を上回っている。一方で昨春新設のソーシャル・データサイエンス学部では志願者数は大幅に減少する見込みである。
後期日程でも前年同日前比で101.6%と志願者はやや増加した。後期日程を実施しない大学・学部があるため、前期日程以上に難易度が高くなるが、今春は強気にチャレンジする受験生が多かったようである。東北大、名古屋大、九州大では志願者数は前年を上回る見込みである。東北大では経済、理学部とも志願者が増加した。九州大では文、経済、農学部で志願者が集まっている。

以上、国公立大の志願状況について速報をお伝えした。
最新の大学別の志願状況は河合塾入試情報サイトKei-Net（*）に掲載しているので、ぜひご活用いただきたい。
（* Kei-Net国公立大出願状況：
<https://www.keinet.ne.jp/exam/entry/index.html>）

<図表3> 難関国立大の志願状況（最終日 10時現在）

大学名		前期日程		後期日程	
北海道	今	5,003	100.3%	4,002	93.7%
	昨	4,988		4,272	
東北	今	4,414	105.2%	1,270	127.9%
	昨	4,195		993	
東京	今	9,103	101.2%	-	-
	昨	8,996		-	
東京工業	今	3,862	95.2%	-	-
	昨	4,056		-	
一橋	今	2,663	103.0%	1,646	96.4%
	昨	2,586		1,707	
名古屋	今	4,298	102.6%	84	118.3%
	昨	4,188		71	
京都	今	7,663	105.4%	398	98.0%
	昨	7,270		406	
大阪	今	6,941	98.6%	-	-
	昨	7,041		-	
神戸	今	5,992	103.9%	3,964	100.1%
	昨	5,765		3,959	
九州	今	5,025	104.1%	2,378	112.4%
	昨	4,825		2,115	
難関10大計	今	54,964	102.0%	13,742	101.6%
	昨	53,910		13,523	

※文部科学省資料より（数値は昨今とも出願最終日10時時点の数）